



第37号 令和1年11月  
 発行元 社会福祉法人まつのみ福祉会  
 発行人 田中 祥之  
 〒580-0023  
 大阪府松原市南新町 1-10-2  
 TEL072-336-3233 FAX072-334-6466  
 http://www.matsunomi.com

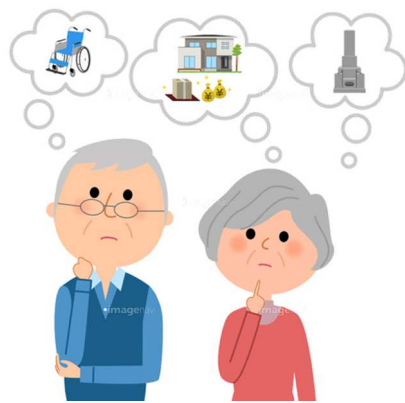
「親亡き後を考える」

障がいのある我が子の働ける場・そして安心して暮らせる場」を確保したいとの一心から活動をはじめ、法人を設立し、現在、「ワークセンターまつのみ・グループホーム」が運営され、20年。

歳月の積み重ねが利用者・保護者とも高齢化し、保護者の死亡・認知の低下による家族の介護への支援が増え、残される利用者や家族の不安も増え、新たな課題が生まれてきました。



先日、私の知人（母子家庭）が亡くなった。娘さんから「生前、お世話になった方や母の友人に知らせてあげたいがどうしたらいいの？」と、相談を受けた。  
「生前の知人の思い・希望はどうだったのか？」と感じた。



「病気が治ったら、作業所に行つて、将来は結婚する」という希望を持っている。ダウン症の青年が「癌」になり、余命、数ヶ月である。親として、真実を伝えるべきか？という記事を最近読んだ。

意思表示が難しい利用者や認知の低下した保護者の方々の「尊厳を保ち、その人らしく生きる」とは？「私らしく生きる。生ききるとは？」を考えさせられた。

病気があるなしにかかわらず、「自分の終末をどのように感じ、人生をどう卒業したいか？」または理性的な判断ができなくなることを想定し、自身自身の終末期にはこのようにして欲しい希望を残される家族のために話し合っておくことも必要と感じた。  
皆さん 残る家族のために、一度、考えてみましょう。

（萩原）



白浜といえば：そう、パンダです！  
という訳で行ってきました。アドベンチャーワールド。』

植木までパンダに剪定されているじゃないですか。お昼ごはんのライスまでなんとパンダ型！そしていよいよパンダのもとへ。

え？あれが子パンダ？ほんとに子？なかなかのサイズですよ。あ、あっちの大きいのが母パンダさんか。なるほどなるほど。お母さんに比べるとかわいい子パンダ。ずっと笹

食べてるけど、そこもかわいいよ。いっぱい食べて大きくなってね、かわいい子パンダ。ほかにも空を飛んでるかのようなイルカや、置物のように眠る動物たちなど。全部見るにはとても時間が足りないよ。

和歌山と言えば：そう、梅です！という訳で梅ジュースを作ってきました。

作り方はとっても簡単。ビンに梅をいれま

す。そして砂糖をいれます。それだけ。きび砂糖、氷砂糖、金平糖。お好みで選んでね。金平糖をいれた梅ジュースは見た目も

とってもかわいいよ。これが映えてやっすね。インスタやってないけど。

すさみ町といえば：そう、エビカニです！という訳で行ってきましたエビカニ水族館。青いエビ！なぜ青いの？うっほ！悪い顔。

パンダに梅にエビ、和歌山の魅力満載な旅でした。



全活 和歌山》

## 旅行

### 一日目

雨具姿のみんなが陰った空とは対照的に明るい表情で出発を待ちわびていた。期待に膨らんだバスでいざ！と走り出したものの、阪神高速が進まない。大阪を出るまでにかかなりの時間を要してしまった。

今回の目的地である小豆島へ渡るカーフェリーの出航時間のため、寄るはずだった姫路城はパスすることに。

昼食には間に合い、瀬戸内海の船旅を経て小豆島へ上陸。

早めのホテル到着で、ホテル前にあるエンジェルロードと言われる干潮にしか現れない道を歩く。橋が架かったような砂浜を歩き、岩場の潮溜まりでは海の生き物たちに出会うこともできた。



### 二日目

朝ごはんのバイキング。100種類くらいあったかなあ。お腹いっぱいでお腹です。

まずはマルキン醤油記念館。おしょう油の歴史とかとても大きな桶とか・・・。

20人（詰めたら30人はいける？）くらいは入れそう。

そうそうそれと、名物しょうゆソフトクリーム。

甘くて香ばしくてなんなんでしょう。不思議な味に微妙な顔になっちゃいます。

最後は二十四の瞳で有名な映画村。

平成うまれの私にはわかんないはずの、懐かしいあの昭和のかんじ。

古い建物が立ち並ぶ中を川が流れています。この川、海水らしいですよ。

まったりまったりできました。

あっという間で楽しかった二日間。

無事大阪に帰りつきました。



《B型・分場 小豆島》

## 園芸

ワークセンターの屋上で、園芸活動をしています。今年の夏は二十日大根とミニトマト、ミニひまわりです。プランターに適したちっこいシリーズです。二十日大根は大根の小さい赤いやつでラディッシュとも言われています。早く育つのでハツカ大根と言うそうですが二十日では収穫できませんでした。おいしかったですけどね。

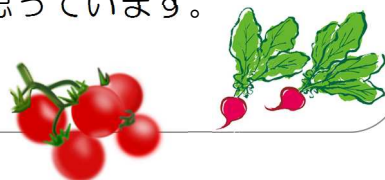
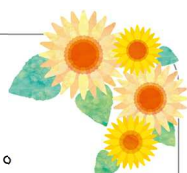
一方ミニトマト。これは苗ではなく種から育ててみました。播種から芽がでて苗になり、背が伸びて花が咲き赤い実をつけたときには拍手して喜びました。

ただ、大事に育てすぎたせいか皮が厚くすっぱいトマトになってしまったのが少し残念です。

そしてミニひまわり。これも小さくプランター向けのお花です。花粉が少なく花もちがいらしいです。今年の暑い暑い夏の中、元気いっぱいきれいな花を咲かせてくれました。

買出し・種まき・水やり・草引き・土運び・・・など、いろいろな場面で利用者さんが活動できていたので、私としては大成功だったかな。。。と思っています。

さて、これから冬に向けて何を育てようかな。。。



## あーと制作

毎週金曜日は制作活動をしています。

共同で写真コラージュを作ったり、それぞれ自由に絵を描いて過ごしています。クレヨン、絵の具など使う画材で仕上がりの変化がとても楽しいです♪

たくさん生まれた作品は、いつか展示会ができるくらいになればいいな。。。と思います。



## 工房まつのみ

今年も一年、終わりに近づいてきました。せわしない時期に入ってきます。来年はねずみ年ということで、カレンダーやストラップの準備をしております。また、お年玉のポチ袋なども用意しております。お時間あればのぞいてみてください



各種イベントなどにも出店しております。お見掛けになられましたらぜひお立ち寄りください。







すこしの工夫で  
意思が伝わります  
8



今回は、障がい者に関するマークについて、いくつかご紹介させていただきます。



障がいのある人が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のマークです。



世界盲人会連合で1984年に制定された盲人のための世界共通のマークです。視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器に取り付けられています



体の中（心臓、呼吸機能、じん臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能に障害がある人）を表すマークです。



義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作製したマークです。